

社会科学習指導案

平成30年9月10日(月) 第2校時 3年C組教室

授業学級 3年C組(40名)

授業者

指導教諭

1 単元名 「大企業と中小企業」(生産と労働)

2 主眼

セイコーエプソン株式会社が株式会社新興セルビックを子会社化した理由を考える場面で、株式会社新興エルビックの特徴やセイコーエプソン株式会社との関係性に着目して、資料「エプソンと新興セルビックの規模の違い」「企業を買収するメリット」などを読み取ることを通して、エプソンは、自社の技術を革新させるため、独自の高い技術力でエプソンの掲げるビジョンと合致した無駄を省くことができる世界一小さい全自動射出成形を開発した株式会社新興セルビックを買収したことが分かる。

3 本時の位置(全4時間中 第2時)

前時:資本主義経済や株式会社の仕組みから、企業の規模の拡大理由について追究した。

次時:労働の行われ方から、労働者の権利について追究する。

4 本時の評価規準

・エプソンは、自社の技術を革新させるため、独自の高い技術力でエプソンの掲げるビジョンと合致した無駄を省くことができる世界一小さい全自動射出成形を開発した株式会社新興セルビックを買収したことを説明している。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇教師の指導・援助	時間	備考
問題把握	1 資料を読み取り、学習問題を設定する。	ア エプソンは新興セルビックの株を全て買っている。 イ エプソンは、自社の事業を拡大するためになぜ多額の出資金を出してまで、小さな会社を買収したのだろうか。	◇導入資料を提示し、エプソンが新興セルビックを子会社化していることを確認する。 ◇イのような発言を全体に広め、学習問題を設定する。	5分	導入資料1「エプソンの新興セルビックの買収」
	2 学習問題に対して予想を立てて発表し、追究の見通しをもつ。	ウ 新興セルビックがエプソンの求める製品を作っていたからではないか。 エ 新興セルビックの経営をエプソンが助けようと思ったからではないか。 オ 新興セルビックを子会社化した方が、お金がかからないからではないか。	◇ワークシートを配付し、学習問題に対する予想を記入するよう促す。 ◇机間指導をしながら、指名計画を立て予想を発表するよう促す。 ◇新興セルビックに着目した意見を取り上げ、学習課題を設定する。	10分	
追究	3 予想を明らかにするための資料を読み取り、分かったことを発表する。	カ 資料1から、新興セルビックは中小企業であり、エプソンは大企業であることが分かる。 キ 資料2から、大企業は中小企業を買収することで、中小企業の高技術力を得ていることが分かる。 ク 資料3から、エプソンは今まで多くの企業の買収に成功していることが分かる。 ケ 資料4から、新興セルビックは高い技術力を持っていることが分かる。 コ 資料5から、エプソンには、無駄を省くというビジョンがあることが分かる。 サ 資料6から、エプソンは新興セルビックを子会社化することで技術を革新しようとしていることが分かる。	◇資料1～6を配付し、資料から読み取れることをワークシートに記入するよう促す。 ◇机間指導を行い、それぞれの資料をどのように読み取っているかを確認しながら指名計画を立てる。 ◇個別の資料を読み取れている生徒には資料間の関連性を考察するよう促す。 ◇ワークシートに記入したことを発表するよう促す。 ◇コ、サのように新興セルビックが持つ独自の高い技術力とエプソンが掲げるビジョンを関連して考察している生徒の意見を全体に位置付け、板書していく。	25分	資料1「エプソンと新興セルビックの規模の違い」 資料2「企業を買収するメリット」 資料3「エプソンの買収・子会社化の経歴」 資料4「新興セルビックの特徴」 資料5「エプソンのビジョン」 資料6「新興セルビックを子会社化して期待されること」
	4 今日の学習を振り返り、分かったことをまとめる。	シ エプソンは新興セルビックの高い技術力に注目し、エプソンの掲げるビジョンと合致したことで新興セルビックを買収したことが分かる。 ス 企業の中にはどのような人々が働いているのだろうか。	◇授業を振り返り、分かったことをワークシートに記入して、発表するよう促す。 ◇スのように企業で働いている人たちに着目した意見を取り上げ次時につなげる。	10分	

6 反省